



## ビーフン・フォーの輸入量※1が過去最高※2を更新！ 大台の10,000トンを再び超える ～シェアNO.1 ※3のケンミン食品も過去最高の輸入量に～

通関統計によると、2024年1月～12月のビーフンに代表されるコメを主原料にしためん類の輸入量は11,250tとなり、2023年の9,725tと比較し115.7%に伸ばしました。また過去最高輸入量だった2022年の10,159tを越え、過去最高を更新しました。内訳をみると、1位のタイが6,312t（前年5,598t/対前年比112.8%）、2位のベトナムが4,464t（同3,626t/同123.1%）となりました。

業界シェア1位※のケンミン食品(兵庫県神戸市・代表取締役社長：高村祐輝)の輸入量は、5,120t（同4,574t/同111.9%）となり、過去最高※の輸入量となりました。

※1「ビーフン、フォーの輸入」は、以下の統計品目番号をとりまとめたもの【1902.19-010 ビーフン（加熱による調理をし、詰め物をし又はその他の調製をしたものを除く）】

※2「過去最高」とは、比較可能な1988年以降のデータを基礎として比較したものの。

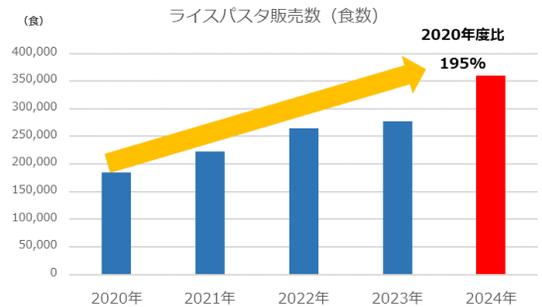
※3通関統計ビーフン類2024年1～12月シェア45.5%

### 1 ビーフン・フォー市場(輸入量)伸長の背景

○輸入量が増えた要因は、健康志向・簡便志向の浸透により、野菜とともに食べる事が多く、簡単に調理できる「ケンミン焼ビーフン」に代表されるビーフン料理が多くの方の食卓に普及できたことが挙げられます。また、昨今の食品値上げにより節約志向が高まる中、比較的購入しやすい価格のビーフン類への関心が高まったと考えられます。

○また、ベトナムからの輸入が増加している要因としては、日本国内の在留外国人数としてベトナムが中国に次ぐ第2位であり、年々その人数が増加傾向※にあるため、フォーの輸入が増えていると考えられます。

※出典：出入国在留管理庁 令和6年3月22日発表 令和5年末現在における在留外国人数について



	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
合計	8,464	8,418	10,160	9,725	11,251
タイ	5,117	4,891	5,907	5,598	6,312
ベトナム	3,028	3,157	3,837	3,626	4,464
その他	319	370	416	501	475

### 2 ケンミン食品の状況

○ケンミン食品では、基幹商品の「ケンミン焼ビーフン」が対前年102%と伸長し、過去5年で158%となりました。また、小麦価格の影響や健康意識の高まりからグルテンフリーへの関心が増え、当社のグルテンフリーを代表する商品である「ライスパスタ」は、対前年比111%、過去5年間で195%伸長し、過去最高売上となりました。2025年も喫食機会の増加が見込まれ、市場拡大が続くと考えます。

#### ケンミン食品とは

1950年神戸創業のビーフンメーカー。国内ビーフン市場の約50%のシェアで日本一。創業者高村健民に因み、健康（健）を皆さま（民）に提供するという理念を持つ。ビーフンの他にも、フォー、ライスパスタ、ライスペーパーなど米を原料とした加工食品を製造する専門企業である。近年、欧米ではグルテンフリーがトレンドとなっており、2022年にはお米のめんで作ったグルテンフリーで本格的な中華麺を開発し、グルテンフリーラーメンや焼そばを販売している。2018年地域未来牽引企業、2020年ひょうごオンリーワン企業に認定。明治安田J1リーグヴィッセル神戸のオフィシャルパートナー。  
<https://www.kenmin.co.jp/>

■ 本件に関するお問合せ窓口 ■

ケンミン食品株式会社 広報室 担当：田中(070-2273-8559) TEL：078-366-2054

e-mail：kenminpr@kenmin.co.jp 〒650-0024 兵庫県神戸市中央区海岸通5丁目1番1号

